

# 調 査 研 究 活 動 実 績

氏 名 武石 利彦

令和元年度の政務調査費研究に関する主な活動の実施状況を報告いたします。

## 1. 観光振興に向けての調査研究

インバウンドの受け皿づくり、特に高知市を中心に増加しつつあるインバウンドを中山間地域に誘導するための方策について調査研究を行なった。自然体験型観光のスポット作りや外国人の目線での町歩きのポイントなどを探った。

また新たに高知駅～窪川駅間で運行される JR 四国の観光列車乗客に対するおもてなし、宿泊や街散策プランなど地域おこしにつなげる調査研究を行なった。

## 2. 学校教育を中心に地域における人材育成についての調査研究

中山間地域の小規模校がこれ以上統合されないよう、魅力のある学校づくりについて調査研究を行なった。

県立高等学校においては AI 教育が導入される見通しとなったことから、AI 技術を活用しながら、地域の一次産業の課題解決に生徒が取り組む仕組みについて調査研究を行なった。結果、ドローン同好会が発足するなどの動きが見えた。

また小規模な小学校においては、小規模さのメリットを活かした授業を進めている学校について調査研究を行なった。浮き彫りになったのは地域と小学校が一体となって子供達を育てる環境の大切さを感じた。今後は、この部分を展開し、小規模校のメリットを活かせる学校づくりを支援する。

## 3. 社会福祉の充実についての調査研究

介護に携わる人員の確保に向け、外国人技能実習生の活用についての調査研究を行なった。県内に専修学校が増えるなど、受け皿づくりが整いつつある。

また B 型作業所のテレワーク、および農福連携への取り組みについて調査研究を行なった。これについては県外企業の誘致と絡めた動きが見えてきた。

## 4. 一次産業の振興についての調査研究

一次産業への IoT 技術の導入について、まずは農業についての調査研究を行なっ

た。水田の水管理、ハウスの温度管理、無人トラクター、ドローンによる農薬散布などへの技術導入について調査研究を行った。また農業分野における六次産業化についても取り組んだ。水産については漁場整備の必要性、養鰻の経営安定に向けた調査研究を行なった。林業については女性の林業参入に向けた調査研究を行った、また木質バイオマス発電についても調査研究を行った。

## 5. 働き方改革についての調査研究

RPAの導入による働き方改革について調査研究を行った。

民間企業への導入について可能性調査を行なったが、当面は公共分野での導入を先行し、その実績評価を参考に民間分野に展開すべきではないかと感じた。

## 6. コロナウイルス対策についての調査研究

コロナウイルスの影響について調査研究を行なった。特に売り上げなどに影響が大きいと思われる、ホテル、旅館業、また飲食店経営者などから現状について聞き取り調査を行なった。また金融機関、交通運輸関係者からも聞き取りし、行政からの支援策についてのニーズやそのあり方について探った。

以上